

スポーツ推薦（野球）による高校進学について

目黒西シニアチーム

文化・スポーツ推薦による高校進学は、基本的に内申書（成績、生活態度、提出物、欠席など）とその生徒の競技実績が重視されます。内申書の評価が高ければ高校を選ぶこともできますが低ければ希望通りの進学は難しくなります。野球の成績だけで高校進学を期待する選手もいますが、過度な期待はしないほうが賢明です。スポーツ推薦は、技術的に優れているだけではなく、学業成績や人物評価にも高いハードルがあります。そのためには、目黒西での積極的活動による実績と、中学三年間の学業成績をしっかりとっておかなければなりません。野球も勉強も一夜漬けは効果がありません。日々の努力の積み重ねが実を結びます。文化、スポーツ推薦がとれない選手は、自分の成績評価に合わせた学校を一般推薦または、一般受験することになります。3年生になってあわてて進路を決めるのではなく、保護者と選手で十分な進路希望と対策を考えておく必要があります。

目黒西シニアの進学指導方法は、第一に本人の希望を優先しています。そのために希望する高校の野球環境や過去の進学実績、選手の適性、成績評価、学校説明会などの情報を提供しています。また、インターネットや一般情報から判断できないことに関しては、目黒西チームから高校に問い合わせを行うこともあります。逆に高校側からお誘いを受ける選手に関しては、保護者に伝え検討してもらうこととなります。進学指導は、本人が望む高校へ推薦できるよう野球技術向上と学業への取り組みを促し、特に野球に関する情報を提供することでスムーズな進学ができるよう可能な限りのお手伝いをします。スポーツ推薦は、中学校校長の権限ですので、クラブチームが教育現場に口を挟むことはできません。目黒西シニアのOBの進学実績は、「学業+野球実績」のスポーツ推薦で進学した学生も多いですが、学業優秀により進学したOBも多数います。「チームの進学実績」は、どのチームも同じだと思いますが、「実績」であって「保証」ではありません。私立高校の場合は、内部進学者も含まれていることもあります。スポーツ推薦を受けるためには、日々の積み重ねが大切です。目黒西シニアでは、そのための応援は最大限させていただきます。

また特待生制度に関しては、日本高等学校野球連盟が平成19年11月30日に発表した「高等学校特待制度に関する取り扱いについて」を遵守いたします。